

暴風雪災害から命を守るためには

日常から暴風雪に備える

★ 暴風雪が発生しやすいとき

発達した低気圧の通過や強い冬型の気圧配置の時に、暴風雪の発生が多く、天気図では等圧線の間隔が狭くなっています。また、低気圧の移動速度が速い場合や地形が急に開けた場所等では、風の強さや見通しが急激に変化するのも特徴です。

★ 暴風雪による被害の特徴

- 吹きだまりによる交通障害(積雪が20cm程度でも車の発進が出来ない場合があります。)
- 歩行困難となり、視界不良で方向感覚が無くなって道に迷う場合があります。
- 車からも視界不良で歩行者が見えにくくなるため事故の危険が増します。
- 暴風により、屋根や看板などが飛散することがあります。

★ 日常から暴風雪による被害にあわないために備える

天気や道路情報を確認する

○日頃から、気象情報や災害情報の取得を心がけましょう。

○出かける前には、最新の気象情報や道路情報を十分に確認しましょう。

テレビの天気予報



スマートフォン

パソコン



○気象庁:警報等、気象情報、気象レーダー

<http://www.jma.go.jp/>

○北海道防災情報:防災情報、メール配信

<http://www.bousai-hokkaido.jp/>

○北海道地区道路情報:国道通行止情報

<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

○石狩市メール配信サービス

情報メニュー名「緊急・災害情報」

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/gyosei/3226.html>

○石狩市公式Twitter:

アカウント名「北海道石狩市災害情報」

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/gyosei/twitter.html>

家の中で安全に過ごすために

○気象情報に注意して、暴風雪が予想されているときは外出を避けましょう。

○停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、ポータブルストーブなど準備しておきましょう。

懐中電灯



携帯ラジオ



防寒着



水



水



クッキー



カンパン



非常食



チョコレート



ポータブルストーブ

灯油



仕方なく車で外出するときは

○天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、手袋、スコップなどを車に積載するとともに、燃料が十分にあることを確認しましょう。

スコップ



毛布



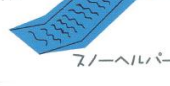
手袋



防寒着



ブースターケーブル



スノーヘルパー



けん引ロープ

～もしも暴風雪で 車が動けなくなったときは～

暴風雪などで車が立ち往生し動けなくなったときに、避難できる場所や民家が近くにない場合は、消防(119番)や警察(110番)に通報して、車の中で救助に備えてください。また、GPS機能付きの携帯電話で119番通報する際は、GPS機能を有効にしてください。通報者の位置をより正確に把握できます。ただし、天候や電波の状況等により、位置情報の誤差が大きくなることがあります。

人命危険がある時は119番

携帯電話のGPSを有効にして119番！
周りの目印も確認して伝えてください



通報者の位置を確認します。



文字表示 地図表示

消防指令センター

救助をまっているときは

○原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険を無くするためにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布などで体温の低下を防ぎましょう

○エンジンをかけるときは

やむを得ずエンジンをかける場合は、窓を開けて換気し、こまめにマフラーの周りを除雪して下さい。

○窓を開けていても絶対安全とはいえません。

風向や窓の開度などの条件によっては、窓を開けていても一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。

消防車両や除雪車が
連携し救出



【問い合わせ】

石狩市 総務部危機対策課・・・(0133)72-3190

ホームページ・・・<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp>

石狩消防署 警防課・・・(0133)74-7113